

地域密着型金融への取組み状況

(取組み期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

高岡信用金庫

地域密着型金融推進に対する基本的取組み

当金庫では、地域密着型金融の取組みについて、平成15年4月以降、2次4年に亘る「金融再生プログラム」、「金融重点強化プログラム」を着実に遂行し、平成19年4月からは、地域密着型金融を恒久的な取組みと位置付け、地域の情報集積を活用した地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた事業再生への取組み、地域活性化につながる多様なサービスの提供等、地域との共存共栄を目指してまいりました。平成23年4月からの取組みにおいても、きめ細かい対面営業の展開と地域の各方面との連携強化、会員の皆様との信頼関係の強化、内部体制の整備と金融機能の発揮を推進してまいりました。

今後も引き続き、当金庫が持つ「つなぐ力」を発揮し、「地域密着型金融の取組み」を深化させ、更なる地域金融の円滑化、お客様への利便性・満足度の向上、信頼される健全経営の確保等に努めてまいります。

平成23年度の取組み状況を次の通り報告させていただきます。



平成23年度の取組み事項と実績

取組み分野	取組み項目	平成23年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成23年度の実績
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	(1)コンサルティング機能の発揮	創業、新規事業支援、事業再生支援、経営支援、営業支援、事業継承への取組みを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度の新規事業の創業先に対する融資は、9件(7先)・43百万円、新事業への進出先に対しては、4件(3先)・50百万円の実績でした。 経営改善支援取組み先245先に対して、原則、毎月1回訪問し、経営相談や経営指導を行いました。また、月次損益や改善項目の進捗状況をヒアリングし、計画達成を検証することで、フォローアップに努めました。その結果、平成23年度は経営改善支援取組み先のうち債務者区分で5先、信用格付けで31先がランクアップとなりました。
		企業の実態把握と課題を解決するために、専門的な人材やノウハウの不足を補完する公的支援機関や経営コンサル会社、関係機関を活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業応援センター事業により、高岡商工会議所等と連携し、「知的資産経営報告書」策定支援(1社)や「経営革新事業」計画申請(4社)に取組みました。 平成23年6月、富山県ものづくり研究開発シンポジウムに参加しました。 公的支援機関や経営コンサルタント・税理士と連携した専門家派遣事業や指導を通じて、高度で専門的な取組みのノウハウの取得を図っています。
		財務・事業分野のデューデリ能力を高め、経営課題を共有してお客様が主体的に事業再生や経営改善に取組み出来るように協力します。	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年1月、北陸財務局主催の「資本制借入金」の積極的活用についての研修会に参加し、知識の習得とスキルアップを図りました。 営業店指導を実施し(22回)、営業店と改善事例を共有することで、職員の改善提案力の強化を図りました。
	(2)取引企業の技術・ノウハウの発掘と進化、活用策の支援	取引先の固有技術やノウハウを調査し、その能力アップの可能性や活用策を公的支援機関やコンサル会社等と連携して取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の塗装会社が持つ抗菌塗装技術を、取引先であるユニットバス製造企業や住宅副資材製造企業へ紹介し、同技術の商品化への提案を行いました。 紫外線吸収防止素材の開発を目指し、県内企業・県工業技術センター・大学との連携でプロジェクトの立ち上げを支援しました。
		取引先の相互支援のために、個別のマッチングを実施します。また、しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2011」を利用し、マッチング機会を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2011」には、当庫取引先を中心に新規出展13社を含む41社が出展し、そのうち、12社においては、他社との商談成果がありました。 T社と地元センサー開発企業とのマッチングを実施し、現在も継続中です。

取組み分野	取組み項目	平成23年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成23年度の実績
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	(3)将来の成長可能性を重視した事業の育成と地域の面的再生支援	地域活性化グループにより、製造業分野の有力企業と当庫取引先企業とのマッチング機会を活用し、受注と技術の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先企業と大手グローバル企業との見学会・商談会を企画し、受注を支援しました。また、地元工作機械販社と大手工作機械メーカーとの協力組織作りを提案しました。 ・地元センサー開発企業3社と大手工作機械メーカーとのマッチングを実施しました。
	新事業分野や成長産業(環境・医療・介護)への取組みを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・県西部地区医療機器産業育成協議会の事務局として、定期的に協議会を開催し、医療機器分野への参入支援を行いました。 ・介護事業への参入検討企業を対象に、介護施設5ヶ所の見学会を実施し、参入支援を行いました。 ・医療機器メーカーと協議会メンバー企業との商談会を開催した結果、3社の商談が成立しました。 ・当庫取引先企業の持つ医療機器・介護用品の開発スキルと大手企業・大学等研究機関とのマッチングを実施しました。 	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底	(1)中小企業者の資金調達手法の多様化への対応	当金庫だけでは大型融資に取組めない場合に、シンジケートローンを活用し、新規取引先との取引開始や既存取引先との取引深耕を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は、1件・50百万円の実績でした。平成24年3月末現在では、12件・1,445百万円の残高です。今後も積極的にシンジケートローンを活用し、大口資金需要に対応します。
		動産・債権譲渡担保融資、ABL等を活用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は、8件・39百万円の実績でした。今後も担保余力のない中小企業者への新たな資金調達方法として、動産・債権譲渡担保融資を積極的に活用します。
	(2)地公体や商工団体、関係機関との連携の強化	国や地公体の施策を基に、商工団体と連携して、各種助成や支援策等を取引先へ提案し、その活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年4月、高岡商工会議所と連携し、中小企業支援ネットワーク強化事業の支援機関として参加登録しました。7月には、第1回支援機関指導員研修等連携研修に参加しました。 ・平成24年3月、平成24年度中小企業支援ネットワーク強化事業説明会に参加しました。 ・国・県・市が実施している支援・補助制度を取引企業や営業店に情報提供し、積極的な活用を促しました。(高岡市・産業振興部および新世紀産業機構と連携)
地域の関係機関と継続的に意見交換を実施し、個社別の案件や各業界の問題と将来展望を協議し、支援策を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年6月、取引先488先を対象に、東日本大震災が企業業績や資金繰りに与える影響を調査しました。また、相談窓口の設置や震災対策緊急融資の取扱いを開始しました。 ・平成23年6月、9月、11月に中小企業基盤整備機構、高岡市、高岡商工会議所高岡市商工会、当庫とが連携し、各機関が実施している支援案件に懸かる課題問題点等に関する意見交換会を行いました。 		

取組み分野	取組み項目	平成23年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成23年度の実績
2. 事業価値を見極め融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底	(3)取引先の問題解決に向けた外部機関の活用と人材育成	富山県新世紀産業機構や高岡商工会議所、経営コンサルティング会社と連携して、産学官の取組みや企業再生、技術・ノウハウ改善等に取組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営コンサルティング会社と連携し、契約先5先に対する生産技術面でのノウハウ提供と、経営改善支援に取り組んでいます。 ・平成23年11月、営業店長・融資役席を対象に中小企業支援機構による「企業再生支援セミナー」を開催し、再生支援の考え方・手法について研修会を開催しました。
		所管部と営業店は公的支援機関やコンサル会社が実施する取組みに参加しノウハウを取得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年12月、「県内中小企業支援関係機関向け勉強会」に参加し、支援事例、支援方法、支援事業の事例について理解を深めました。 ・平成23年9月、県信用金庫協会主催の「金融円滑化対応セミナー」に新任支店長を中心に参加させ、平成23年5月に改正された地域金融機関向け監督指針の内容について理解を深めました。 ・平成24年3月、本部職員を北陸財務局主催の「平成23年度地域密着型金融に関するシンポジウム」に参加させ、各行庫の取組み事例について理解を深めました。
3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1)多重債務者問題への対応	外部専門家を活用したセミナーを開催し、取引先が多重債務者に陥らないための予防策を講じます。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は、多重債務者救済のための再チャレンジ支援融資は、2件・19百万円の実績でした。他行借入金の肩代わりや事故歴のある方に対して、中古住宅購入資金も取組みました。多重債務者については、きめ細かく債務内容を確認しながら案件毎に個別対応し、問題解決に取り組んでいます。
		多重債務者向け相談窓口の設置と、各種ローン商品の内容を見直し拡充を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務者対策として、新商品(フリーローン)の発売を検討しています。 ・多重債務者窓口として、「金融円滑化相談窓口」と併設して、住宅ローンの返済条件の変更や、多重債務に関する相談などに対応しています。
	(2)目利き能力と融資対応能力の向上	企業の将来性、技術力を適切に評価できる目利き能力、経営支援能力向上など、事業再生・中小零細企業金融の円滑化に対応できる人材の育成に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・目利き能力強化・養成や融資能力向上の為、若手職員中心に外部研修へ派遣しました。また、金庫内での相乗効果を狙い、11月及び12月に研修受講者が講師となり土曜セミナーを実施し、職員のレベルアップを図りました。
	中小企業診断士等国家資格を有する人材を育成します。		<ul style="list-style-type: none"> ・9月より中小企業診断士サポート講座の第3期生3名を選出し、資格取得に向けバックアップ中です。3月より中小企業大学校へ1名派遣しました。
	外部派遣研修へ引き続き積極的に派遣し、庫内研修も融資や相談能力向上を中心とした研修や訓練を実施します。		<ul style="list-style-type: none"> ・全信協の目利き養成・実践講座、地区協の目利き力強化・養成、融資渉外講座等に延べ10名派遣しました。その中で、「次世代リーダー育成講座」「目利き力養成実践講座」に関し、受講者が講師となり土曜セミナーを実施しました。

取組み分野	取組み項目	平成23年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成23年度の実績
4. その他	(1)法令等遵守の徹底	<p>法令等遵守を実効性あるものにするため、規則・規程等に則った手順を踏んだ仕事に徹するとともに、本部への報告体制を厳格に行います。</p>	<p>・規程・要領等の制定・改定、新商品の発売、新規業務の開始および契約書・協定書・覚書等の締結等に当たっては、金庫内の法務リスク分科会での審議や顧問弁護士へ依頼することで、リーガル・チェック体制の整備と法令等を遵守しております。</p>
		<p>「犯罪収益移転防止法」及び「組織犯罪処罰法」を十分に理解し、庫内規則に沿って、本人確認、疑わしい取引の届出等を適切に行います。また、「振り込め詐欺救済法」に基づき、被害回復分配金の支払手続を遅延なく行います。</p>	<p>・営業店では日々、「不正・風評等監視日報」により取引内容を検証しており、疑わしい取引と思われる場合、速やかにコンプライアンス部(以下、統括部署という。)へ報告しています。統括部署は「マネー・ローダリング防止対策事務取扱要領」に基づき、金融庁への届出等を実施しています。また、「振り込め詐欺救済法」に基づき、犯罪利用口座等であると認めるときは、預金等債権の消滅手続を速やかに実施する体制をとりました。</p>
		<p>反社会的勢力による被害を防止するため、取引を含めた一切の関係遮断、不当要求の断固拒絶、警察等の外部専門機関との十分な連携等対応を強化します。</p>	<p>・「当座預金規定」「反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書」を改正し、反社会的勢力の範囲を拡大・明確化しました。 ・反社会的勢力の取引解約については、常勤役員会で審議の上、警察、顧問弁護士と綿密な打合せのもと、反社会的勢力との取引遮断を進める体制を整備しました。</p>
		<p>営業店への臨店指導を強化し、法令等遵守に関する指示の徹底とその実施状況の事後の検証を行います。</p>	<p>・定期的に本部・営業店のコンプライアンスアシスタント(以下、CAという。)へのヒアリング、営業店の臨店勉強会およびCA対象のレベルアップ研修会において法令等遵守の指示、徹底を図りました。</p>
	(2)適切な情報開示	<p>会員や地域の皆様が金庫の経営内容・質に対する評価・理解を容易にするための情報開示を行います。</p>	<p>・法定ディスクロージャーを年1回発行し、店頭に備え付けてあります。あわせて当庫ホームページにも掲載し、お客様に経営内容を公開しています。また、ミニディスクロージャー誌も年1回発行し、お客様に配布しています。</p>
		<p>総代の選考方法、総代会の役割、総代会の仕組み等について、ディスクロージャー誌等で公表します。</p>	<p>・総代会の制度、総代の任期、定数、選任方法や通常総代会における決議事項や報告事項を、詳細にディスクロージャー誌で公表しました。</p>
		<p>地域密着型金融推進計画の取組み状況等をホームページで公表します。</p>	<p>・平成22年度の地域密着型金融推進計画の取組み状況及び、平成23年度と同計画を当庫ホームページに公表しました。</p>

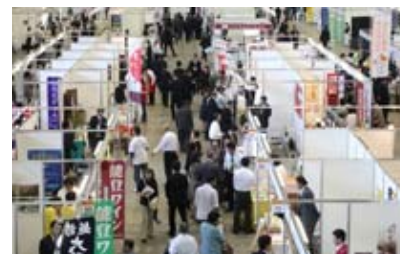
取組み分野	取組み項目	平成23年度の具体的取組み計画	左記計画に対する平成23年度の実績
4. その他	(3)お客様・会員の関係強化と各種ニーズの業務への反映	<p>フェイス・トゥ・フェイスの営業展開や地域の各種会合への参加により、お客様との関係強化に引き続き取組みます。 会員から当金庫に対する意見・要望等をくみ上げニーズを踏まえた業務戦略を構築します。</p>	<p>・常勤役員による営業店担当制度を実施しています。常勤役員が担当する営業店のお客様から直接、意見・要望をくみ上げ、その声を生かした業務運営をしています。また、結果を常勤役員会、理事会にて報告し、情報の共有化を図っています。</p>
		<p>個人向け金融・サービスの一層推進と、会員の増強を図ります。</p>	<p>・フェイス・トゥ・フェイスの対面による営業展開により得られた情報を、業務に反映し、広く会員数の増加を図り、営業基盤の充実を行っています。</p>

具体的取組み事例

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化への取組み

しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2011」を開催

石川県産業展示館において北陸地区信用金庫協会主催のしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2011」が開催されました。たかしんでも地域経済の活性化と、地元企業の事業発展を目的とし、取引先を中心に新規出展13社を含む41社の出展がありました。ビジネスマッチングも実施し、そのうち、12社においては他社との商談成果がありました。



「たかしん経済講演会」を実施

講師に森岡 正憲氏(伊藤忠商事(株)理事 拓殖大学名誉教授)をお招きして、「新年の内外情勢の底流と展望」と題して開催いたしましたところ、334名のご参加をいただきました。

2. 事業価値を見極め融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底への取組み

金融相談窓口、多重債務者相談窓口を設置

お客様からの資金繰りや返済に関するご相談に、お客様の状況を十分に把握した上で適切に対応するため「金融相談窓口」を設置しました。また、「多重債務者相談窓口」も併設し、住宅ローンの返済条件の変更や、多重債務の取りまとめ等、相談に対応しています。



「土曜セミナー」「融資審査トレーニー研修」を実施

職員の目利き能力、融資対応能力向上を目的として職員向けの両勉強会を開催しました。「土曜セミナー」は目利き養成講座など毎週土曜日に全7講座を開催いたしました。「融資審査トレーニー研修」は若手融資担当者が融資審査の基本(資金使途・返済財源等)を体得するため、融資部が稟議の場へ参加させ、直接指導を行いました。

3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献への取り組み

住宅展示場に住宅ローン相談コーナーを設置

高岡市内最大級の住宅分譲地「木津の庄」で1ヶ月間にわたり毎週土・日曜日に住宅ローン相談コーナーのブースを出展しました。来場者の皆様の住宅資金に関する相談に対応しました。



鐘紡町支店にローン相談コーナーを常設

休日にも住宅ローンをはじめ各種ローンの相談がしたいという声にお応えするため、鐘紡町支店にローン相談コーナーを常設しました。地域の皆様のニーズにお応えできるようになりました。

インターンシップを実施

県立高岡商業高等学校の就業体験「インターンシップ」を実施し、4名のインターンを受入れをしました。4日間にわたり、「社会人としてのマナー」「お金と金融機関の役割」「金融詐欺・金融犯罪についての知識」「多重債務者予備軍にならないための金融知識」等について学生達にわかりやすく説明しました。



「おもしろ年金セミナー」及び「個別年金相談会」を開催

講師に社会保険労務士の原 玲子氏をお迎えして、「おもしろ年金セミナー」を開催し、101名のご参加をいただきました。難しい年金制度について楽しく、わかりやすく説明していただきました。同時に、全店で、「個別年金相談会」を開催。お客様の年金に関する疑問、老後の生活設計について、個別相談にお答えいたしました。

4. その他

ATMを増設

大型ホームセンターに共同ATMを設置しました。また、2支店のATMを2台に増設するほか、1支店の休日稼働を開始しました。今後も計画的に、休日稼働の増加、ATMの増設をすすめ、お客様の利便性の向上に努めます。

全国信用金庫PRコンクールで「全信懇会長賞」を受賞

たかしんのイメージポスターが第31回全国信用金庫PRコンクールで、最優秀賞にあたる「全信懇会長賞」を受賞しました。千本格子の家が並ぶ石畳を歩く女の子の写真と、「この街と生きていく」というキャッチコピーとが一体となった信用金庫らしさが評価されました。

たかしんではこのポスターのほか、高岡市内の名所のポスターを作製し、私たちの住む街のイメージアップを図っています。



古城公園を清掃

たかしんでは毎年、営業店配属前の新入職員による古城公園内清掃を恒例行事としています。清掃活動を通じて地域の環境美化に貢献すると共に、地域の皆様への日頃の感謝の気持ちをこめて清掃を行いました。

高岡市荻布奨学金事業に賛助金

たかしんでは1963年(昭和38年)の奨学金の基金創設以来、50年間賛助を続けています。同奨学金は市内在住で賛助が必要な高校・高専・大学生を対象にした制度で、これまで延べ1,500人以上の学生を支援しています。

「地域密着型金融推進」に係る取組み実績

1. 主要計数の実績

ライフサイクルに応じた支援強化の取組み実績

主要計数項目	平成24年3月末目標	平成24年3月末実績
経営改善支援取組み率(1)	40%	37.5%
経営改善支援取組み先の再生計画策定率(2)	100%	100%
経営改善支援取組み先のランクアップ率(3)	5%	2.0%
創業・新事業支援融資実績(件数・金額)	20件・100百万円	13件・93百万円

- (1)経営改善支援取組み率(37.5%)
 = 経営改善支援取組み先数(245先) ÷ 正常先除く期初債務者数(654先)
- (2)経営改善支援取組み先の再生計画策定率(100%)
 = 再生計画策定先数(245先) ÷ 経営改善支援取組み先数(245先)
- (3)経営改善支援取組み先のランクアップ率(2.0%)
 = 支援先の債務者区分ランクアップ先数(5先) ÷ 経営改善支援取組み先数(245先)

個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績(中小企業に適した資金供給手法の徹底)

主要計数項目	平成24年3月末目標	平成24年3月末実績
動産・債権譲渡担保融資実績(件数・金額)	5件・50百万円	8件・39百万円
財務制限条項活用融資実績(件数・金額)	2件・200百万円	1件・50百万円

2. その他の数値目標と実績

「地域密着型金融推進計画」の期間中に主要計数の取組みのほか、達成すべき業績水準として、以下の目標を設定し努力してまいりました。

項目	平成24年3月末目標	平成24年3月末実績
経営改善支援取組み先数	272先	245先
経営改善支援先の債務者区分ランクアップ先数	10先	5先
経営改善支援先の信用格付ランクアップ先数	30先	31先
コンサルティング提携企業先数	8先	5先
新規開業支援企業先数	10先	7先
新規分野進出支援企業先数	5先	3先
私募債取扱企業先数	1先	0先
シンジケートローン取扱企業先数	2先	1先